



いつも身近に
地域包括支援センター

高齢者の権利を守りましょう～防ごう高齢者虐待～

現在、家庭や施設で高齢者の人権を侵害する「高齢者虐待」が問題となっています。厚生労働省が26年度に行った調査によると、高齢者が家族などから虐待を受けたと判断された件数は、約1万6000件にのぼっています。

「虐待をするなんてひどい人だ!」と思いがちですが、「適切な介護の仕方や認知症への対応がわからないために、つい手をあげてしまう」「これまでの家族関係が悪く、介護が苦痛にな

る」「介護負担に加えて経済的に困っている」などによって虐待してしまう場合もあり、虐待をしてしまう側も大きな苦しみを抱えています。「自分だったら、絶対に虐待しない」と言い切れるでしょうか?

みなさんも、家族を孤立させずに虐待をなくすために何ができるか一緒に考えてみてください。

○こんな場合に高齢者虐待が起こりやすくなります!

- ・高齢者に認知症がある
- ・介護の負担をひとりで抱えている
- ・経済的に困窮している
- ・近所付き合いがない
- ・介護者に疾病や障害がある
- ・相談する場所がない

○虐待を防ぐために…!

地域のみなさんの理解と支えがあれば、高齢者も介護する家族も安心して社会に出て、自分らしい暮らしを続けることができます。必要なのは、さりげない手助けや見守り、声かけなどです。あなたのちょっとした勇気や優しさが地域の支え合いにつながります。

○こんなことは高齢者虐待にあたります。

- 叩く、殴るなどの行為によって、身体に外傷やアザを与える **→ 身体的虐待**
- 介護や生活の世話をやっている者が、その提供を放棄する **→ 介護等放棄**
- 言葉や威圧的な態度などによって、精神的苦痛を与える **→ 心理的虐待**
- 性的な行為を強要する **→ 性的虐待**
- 金銭や財産を勝手に使用する、又は不当に制限する **→ 経済的虐待**

○「虐待かも?」と思ったら…

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんが住み慣れたまちで安心して暮らしていけるよう、さまざまな職種や機関と連携して、高齢者の生活全体を支えています。高齢者虐待かどうか判断しがたい場合でも、深刻な虐待にならないように予防する観点から、高齢者や養護者の心身の状況や生活状況を適切に見極めながら、支援・見守りを行うことが重要です。

あなたの身近にいる高齢者が「虐待を受けているかもしれない」また、「家族が虐待をしているかもしれない」と気づいた場合には、地域包括支援センターまでご相談下さい。

(相談者の個人情報 extern に漏れることはありません。)

【問合先】市民部介護保険課 地域包括支援センター TEL26-1261



第60回

岡前地神社古墳の発見!

28年を締めくくる12月になりました。今年、本市の文化財関係のニュースで注目を浴びたのが、岡前地神社古墳(本市湊)の発見です。

28年3月に、岡前地神社(本市湊)において石棺の蓋らしきものが発見されました。石棺周辺は古墳の可能性が あることから、発見場所は「岡前地神社古墳」とされました。発見された石棺の形状や古墳との関係を把握することを目的に、7月から8月末まで発掘調査・測量調査を行いました。

調査成果として次のことがわかりました。

①畑地の開墾により大きく改変されていますが、墳丘は全長90m台の前方後円墳の可能性が あります。全長90m台は香川県内でも最大級の大きさです。

②古墳時代中期(4世紀末～5世紀初め)の円筒埴輪と形象埴輪の破片が出土しました。

③石棺は身がなく蓋だけであることが確認され、形態から古墳時代中期の特徴を持つことがわかりました。石材は、さぬき市津田町の火山の凝灰岩(火山岩)です。

これらをまとめると墳丘や石棺の時期や関係がわかります。

石棺が発見された墳丘は、出土した埴輪片から古墳時代中期(4世紀末～5世紀初め)の年代が想定されます。石棺蓋と埴輪片の年代観を比較しても、両者とも古墳時代中期が想定され、石棺と埴輪の年代観が一致します。このことから、発見された石棺は他所から運びこまれたという伝承がありますが、古墳に埋葬された石棺の可能性も考えられます。

9月25日に行った現地説明会では県内外から約130人の参加があり、広く関心をもっていただいていることが裏付けられました。

次年度以降も継続的に調査を実施し、石棺の歴史的価値や古墳の規模や詳細を把握していく予定です。古代へのロマンが広がります。



▲ 発掘中の石棺の蓋

(文責 歴史民俗資料館)